

製品名: HoxA5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12167**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	HOXA5
別名	HOXA5; HOX1C; Homeobox protein Hox-A5; Homeobox protein Hox-1C
遺伝子 ID	3202.0
SwissProt ID	P20719
免疫原	ヒト HoxA5 の N 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

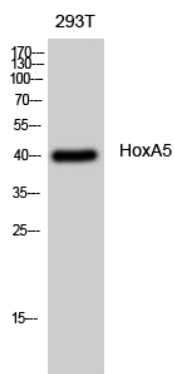
脊椎動物において、ホメオボックス遺伝子と呼ばれる転写因子群をコードする遺伝子は、4本の染色体上の A、B、C、D というクラスターに存在します。これらのタンパク質の発現は、胚発生において空間的および時間的に制御されています。この遺伝子は 7 番染

染色体上のAクラスターの一部であり、遺伝子発現、形態形成、および分化を制御する可能性のあるDNA結合転写因子をコードしています。この遺伝子のメチル化は発現の喪失につながる可能性があり、コードされているタンパク質は腫瘍抑制因子 p53 の発現をアップレギュレーションすることから、腫瘍形成において重要な役割を果たす可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月]、発生段階：胚発生期および成体腎臓で発現します。機能：配列特異的転写因子であり、細胞に前後軸上の特定の位置的アイデンティティを与える発生制御システムの一部です。また、自身のプロモーターにも結合します。モチーフ 5'-CYNATTA[TG]Y-3'に特異的に結合します。類似性:Antp ホメオボックスファミリーに属します。類似性:1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。

研究分野

-

画像データ



1: 500 に希釈した HoxA5 ポリクローナル抗体を使用した 293T 細胞のウェスタンブロット解析。